

2016年4月6日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 石井 直

(東証第1部 証券コード: 4324)

電通、マレーシアの総合デジタルエージェンシー 「コンシダー・デジタル社」の株式51%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、マレーシアの総合デジタルエージェンシー「Consider Digital Sdn Bhd」（本社：クアラルンプール市、以下「コンシダー・デジタル社」）の株式51%の取得と、今後段階的にシェアを拡大して完全子会社化するオプションを当社グループが有することにつき、同社株主と合意しました。

2013年に設立されたコンシダー・デジタル社は、SEM、ソーシャルメディア、コンテンツマーケティング、データ分析からEコマースまで、デジタル広告マーケティング領域全般を扱っています。設立3年でマレーシア内外の有力企業からの受注によって急成長を遂げており、従業員者数も50名規模へと拡大しています。

また同社は、マレーシアのマルチメディア開発公社が優れたICT（Information and Communication Technology）技術を持つ企業に与えるMSC-status認証を授与されています。

株式取得後、当社はコンシダー・デジタル社を当社グループの9つのグローバルネットワーク・ブランド[※]の1つでデジタル・パフォーマンス領域に強みを持つiProspect（アイプロスペクト）の現地法人「アイプロスペクト・マレーシア」と合併させ、社名をConsider iProspect（コンシダー・アイプロスペクト）に改称する予定です。今後はマレーシアのグループ各社との連携を図ることで、同国での成長戦略を加速させていきます。

なお、本件が当社の2016年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

[※]電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（ロンドン）は、9つのグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。9つのブランドとは、Carat、Dentsu（Dentsu Branded Agencies）、Dentsu media、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

